

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

第2回部会

参集形式
(令和6年9月24日)

- 1 報告 (1) 令和6年度現況届の実施結果
(2) 令和6年度個人情報保護研修会
- 2 議事 アンケート・インタビューの結果から、カシワニネットの現状を把握し、どのように活用すればよいかを検討する

報告1 | (1) 令和6年度現況届の実施結果

■ 内容

- ・ 職員の異動等が多い年度初め（4月頃）に実施している
- ・ カシワニネットの利用にあたり，個人情報 の適正な取扱いの観点から登録状況（職員の新規登録，削除，事業所情報）の確認のために現況を届け出てもらうもの

■ 回収状況及び現況確認に伴うID発行状況（※7月末時点）

- ・ 回収率は**3.6ポイント上昇**し，スムーズな回収へと繋がった

考察

- 新規発行者の申請方法をWeb入力へ変更
- 現況届の案内時に，カシワニネット担当者の役割（チラシ）を周知

	発送数	回収数	回収率	ID新規発行者	ID削除者
令和6年度	475事業所	454事業所	95.5%	196人	196人
令和5年度	470事業所	432事業所	91.9%	149人	176人

■ 未提出事業所に対する対応について

<具体策>

- ① 部会員に協力いただきながら未提出事業者へ現況届の提出依頼を行っていく
- ② 年度末に向けて現況届を提出いただけなかった場合は，事前に通知文を送付した上で，部屋の閲覧を制限していく

■ 概要

目的	<ul style="list-style-type: none">・ カシワニネットの利用において、患者一人一人の個人情報を取り扱うことから、利用する各職種が、個人情報保護に対する意識と知識を高めること・ 一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうこと
研修形式	研修システムを活用したeラーニング
受講対象者	カシワニネットを利用する全員 約2,300人（R6.7月末時点）
実施時期	令和6年11月5日（火）～26日（火）
内容	<ol style="list-style-type: none">(1) 個人情報保護について(2) カシワニネットの効果的な活用に関する動画

■ 受講促進策

➤ カシワニネット担当者へ受講促進のお願い

R5年度カシワニネット担当者の受講率は50%を超えた

⇒役割を明確化（チラシを同封）、担当者宛にメールを送信

➤ 研修の周知，システム操作マニュアルの工夫

研修システムの変更に伴い，操作方法等が変わる

⇒受講率向上のため，スムーズな受講になるよう，研修案内時やマニュアル等を工夫

➤ インセンティブの発行

- ・ 確認テスト合格者へ合格証を発行（研修画面上でのダウンロードを予定※今年度より）
- ・ 優良事業所（※）へ賞状を発行し，柏市ホームページにて公開

※全てのカシワニネット登録者が受講を終えた事業所

➤ 研修期間終了後のアーカイブ配信

動画配信サービスにて，期間内に受講できなかった方に対し研修動画を配信

■ R6～R7年度の部会のテーマ

多職種連携においてスムーズな情報共有を行うために、カシワニネットの効果的な活用に関する取り組みを検討し実行する

R6年度

R7年度

第1回

7月中

第2回

第3回

現状把握に向けての検討

現状把握

現状分析

目標の設定

課題抽出

取組の検討

取組の実施

効果確認

アンケート・インタビューの結果から、カシワニネットの現状を把握し、どのように活用すればよいかを検討する

第2回で出した意見を踏まえ、課題を整理する

・事務局で整理した課題の確認
・具体的な取り組みの検討

■カシワニネットアンケート・インタビューの実施概要

①アンケート ※実施結果は別添1のとおり

項目	概要
時期	令和6年7月1日（月）～16日（火）
回答方法	Web回答 ※無記名方式
対象者 （対象事業所）	2,069人（475事業所） ※令和6年5月末時点で登録のあった者を対象とした

②インタビュー ※実施結果は別添2のとおり

項目	概要
時期	令和6年7月10日(火)～25日(木)
実施方法	Z o o mによる聞き取り
対象者	実際にお部屋を活用している多職種 ※情報共有の場としてお部屋を効果的に活用している多職種に協力をお願いした

■グループワークの結果（第1グループ）

グループワーク1

カシワニネットの活用に関する現状把握（感想・意見）

○カシワニネットのレクチャー

- ・カシワニネットの使い方がわからない方は、レクチャーなどの場を作った方がよいのか
- ・カシワニネットへのログインの有無に、年齢は関係なかった

○自由な情報共有

- ・ヘルパーにもカシワニネットへ参加してほしい
- ・病院にもカシワニネットへ参加してほしい
- ・情報共有が必要と思えばカシワニネットへ投稿すればよい

○個人情報

- ・個人情報保護についての視点は大切

○マナー

- ・カシワニネットへ投稿しているのに返事がないと不安になる

○ペーパーレス化

- ・FAXや電話等での連携が多い
- ・カシワニネットを使うことで情報が一度に伝達することができる

○ICT化

- ・他のツールを使っている方、カシワニネットに興味がない方（無関心層）に啓発を行う必要がある

グループワーク2

カシワニネットを今後どのように活用していけばよいか

- ・カシワニネットの操作や部屋の活用について事業所へ説明に行く
- ・カシワニネットの操作等に関する説明会等を開く

- ・誰でも投稿できるように活用等のハードルを下げる
- ・連絡ノートを写真で送付してもらう
- ・カシワニネットを使って記録などの業務を削減し、ケアやアセスメントに時間をとる
- ・カシワニネットへの参加をアピールする
- ・病院との連携でカシワニネットを使う
- ・ICTでも多職種連携としてのつながりを大切にする

「見たまま」「ありのまま」の情報共有を行い、一致団結し、チームケアを行う

■グループワークの結果（第2グループ）

グループワーク1

カシワニネットの活用に関する現状把握（感想・意見）

○操作性

- ・使い方がわからなくてログインしない人が意外に多い

○お部屋の活用

- ・活用事例を知りたい人が多いと思う
- ・活用している立場からすると、活用していない人が苦手としている部分が変わりにくい

○病院との連携

- ・病院との連携ができるとよい（MSW等にもっと参加いただきたい）

○マナー

- ・投稿を手間だと感じる反面、些細なことでも情報共有してもらおうとありがたいという意見もある
- ・投稿した内容に対し、返信がくると使いやすいと感じる

○多職種の壁

- ・専門用語があるとわかりにくい（医療介護ともに）
- ・職種の壁を感じている意見あり

○時間と手間

- ・部屋があっても電話やFAX等で情報共有している人が多い

○無関心

- ・ログインしたことがない方はカシワニネットを情報共有のツールとして必要としていない（と思われる）

グループワーク2

カシワニネットを今後どのように活用していけばよいか

- ・動画配信サービスなどを利用し、カシワニネットの活用に関するワンポイント動画を作成する
- ・カシワニネットの活用等に関する研修会を開く
- ・カシワニネットを活用した多職種連携の好事例をあげることにより興味が広がるのではないかと

- ・病院MSW等へのカシワニネットの説明、勉強会等を開く

- ・顔の見える懇親会を行う

- ・スマートフォンなどでの操作が簡単かもしれない

■今後の予定

➤ 第3回部会（2月4日開催予定）

- ・事務局で整理した課題の確認
- ・具体的な取り組みの検討

➤ 令和6年度個人情報保護研修eラーニング（11月5日～26日）